

第3学年の保護者の皆様

令和6年3月22日

4. 各教科の授業改善に向けての取組（一部抜粋・3年生）

県立川和高等学校
校長 師岡 健一

令和5年度「生徒による授業評価」集計結果のお知らせ

陽春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動について、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年12月に次の1～3の内容で「生徒による授業評価」を実施いたしました。集計結果（裏面参照）とアンケート結果を踏まえて各教科でまとめた授業改善に向けての今後の取組をご報告いたします。

1. 調査対象：本校生徒全員（欠席者を除く）。

2. 調査内容：生徒が受けているすべての授業について、次の評価票を使用し、各項目に数字（4～1）で回答。

【4：かなり当てはまる 3：ほぼ当てはまる

2：あまり当てはまらない 1：ほとんど当てはまらない】

3. 評価票

県立川和高等学校

科目名 教科担当者 先生 年 組

・「小項目の評価欄」にあなたが当てはまると思う下記の評価番号（1～4のどれか）を記入して下さい。

4 かなり当てはまる 3 ほぼ当てはまる 2 あまり当てはまらない 1 ほとんど当てはまらない

大項目	小項目	評価
授業の在り方について	1 毎時間の授業や単元（内容のまとまり）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある	
	2 単元（内容のまとまり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある	
	3 単元（内容のまとまり）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある	
学習の状況について	4 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた	
	5 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた	
	6 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた	
	7 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた	

自由記述欄

【国語】生徒が主体的に学べるような授業の展開を考えるとともに、興味・関心を育む工夫をする。また、ペアワークやグループワークを取り入れながら、思考力や表現力を高められるような授業をしていきたい。

【地歴・公民】講義と演習を通じて受験に必要な知識・技能を身に付けるとともに、ペアワークやグループワークを通じた言語活動の機会を積極的に取り入れることで、生徒の主体的・協働的な学習を促した。今後さらに、大学受験後の広い社会に出たときに生きる知識・見識を身に付けられるような授業づくりを工夫していく。

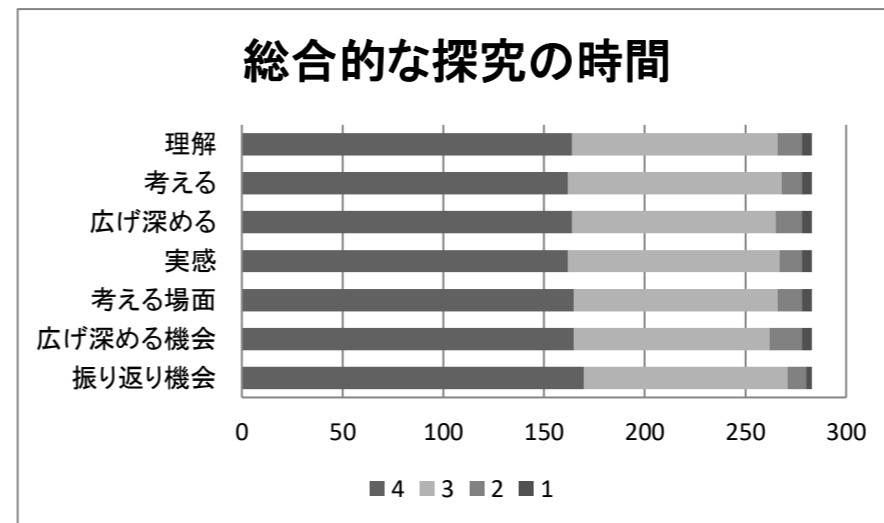
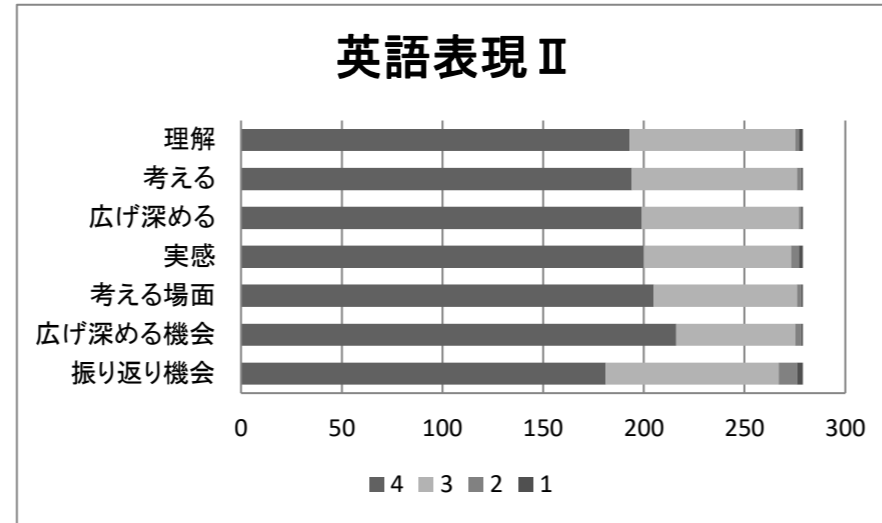
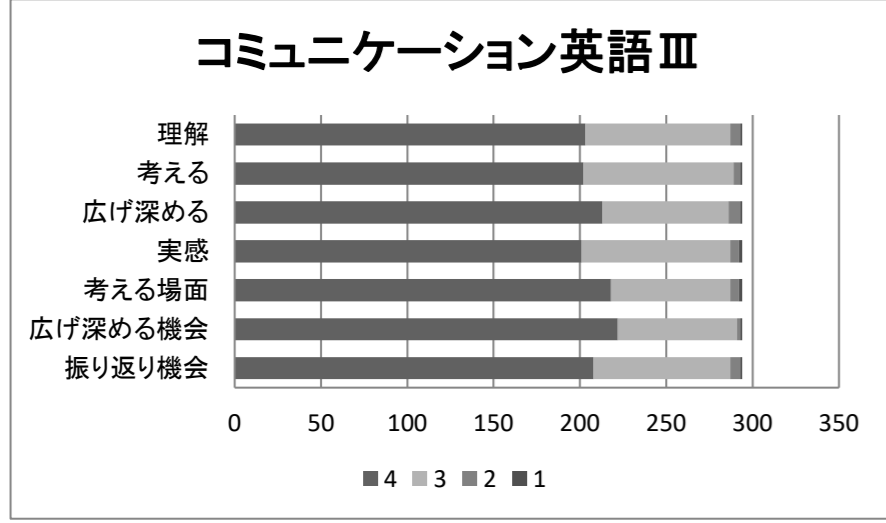
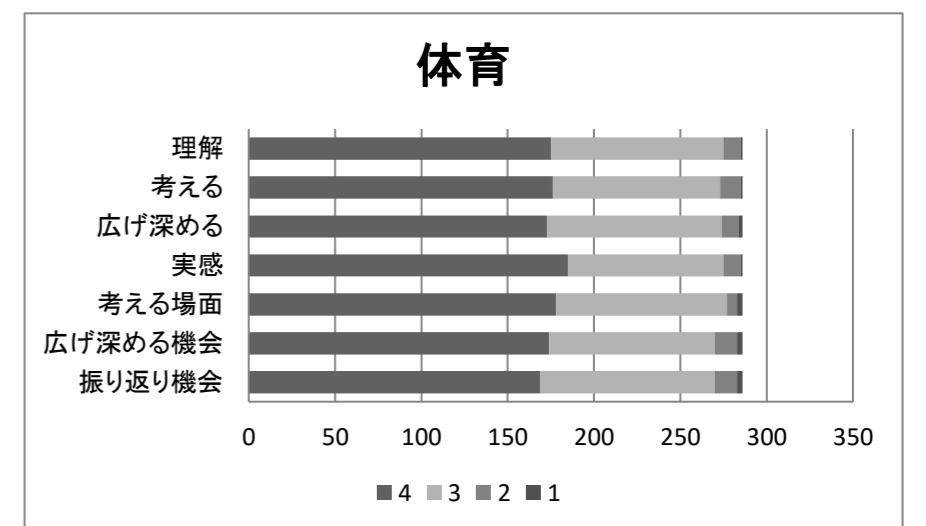
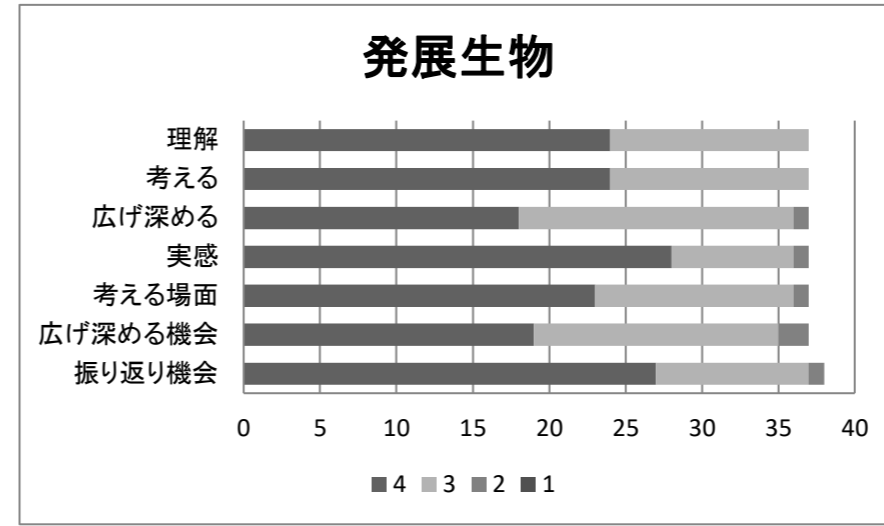
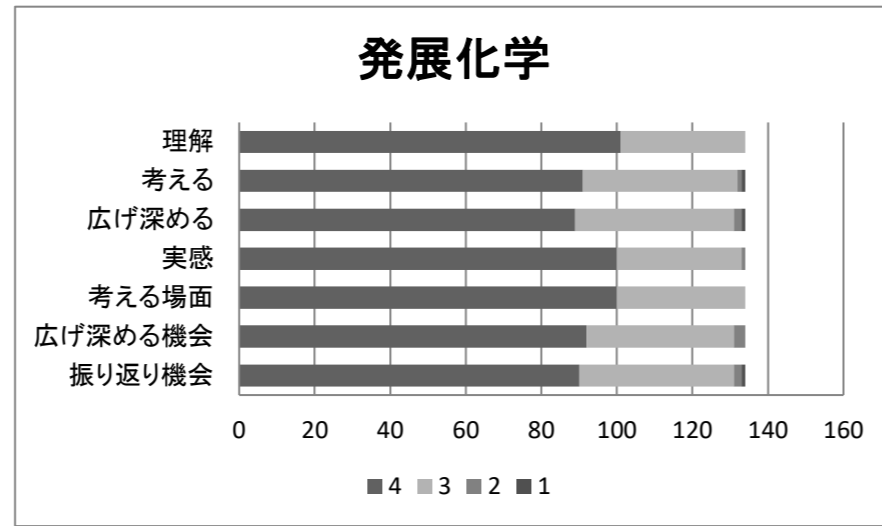
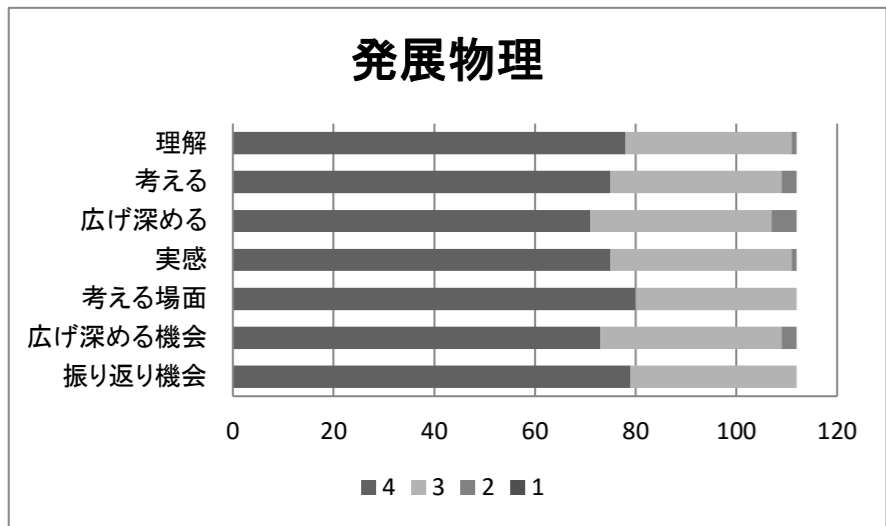
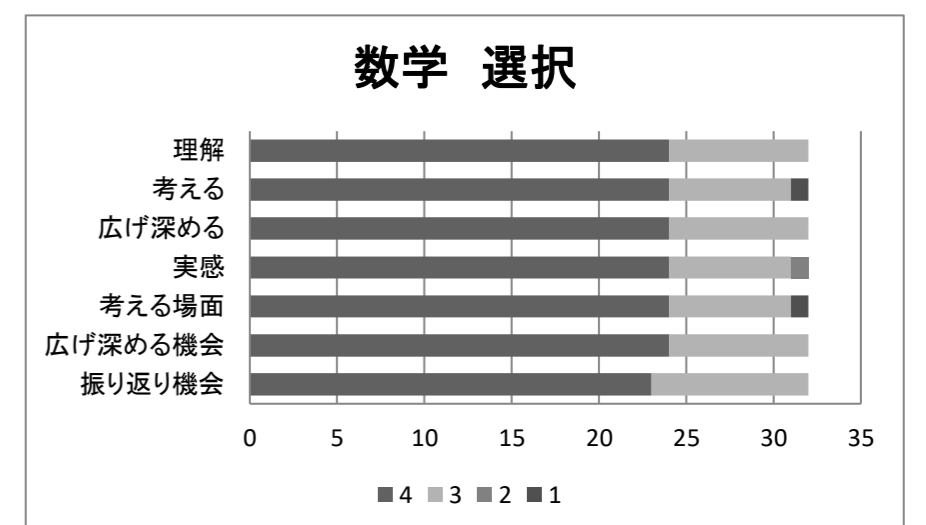
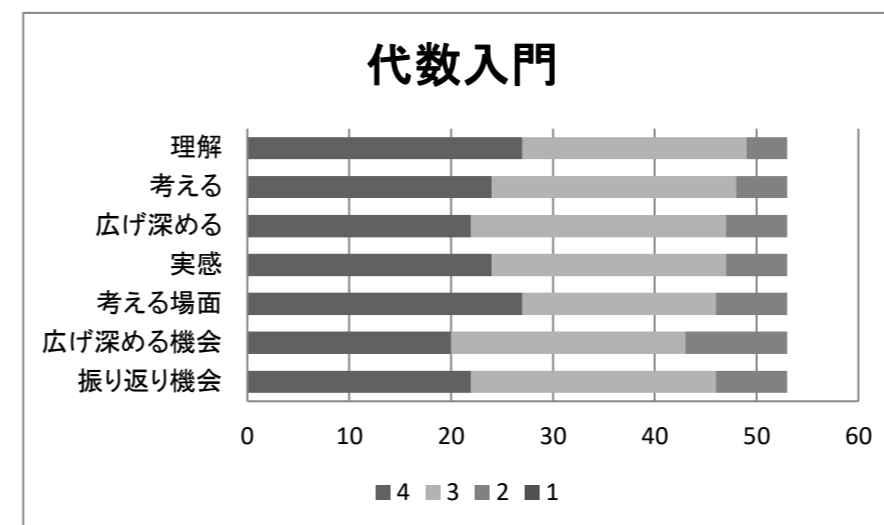
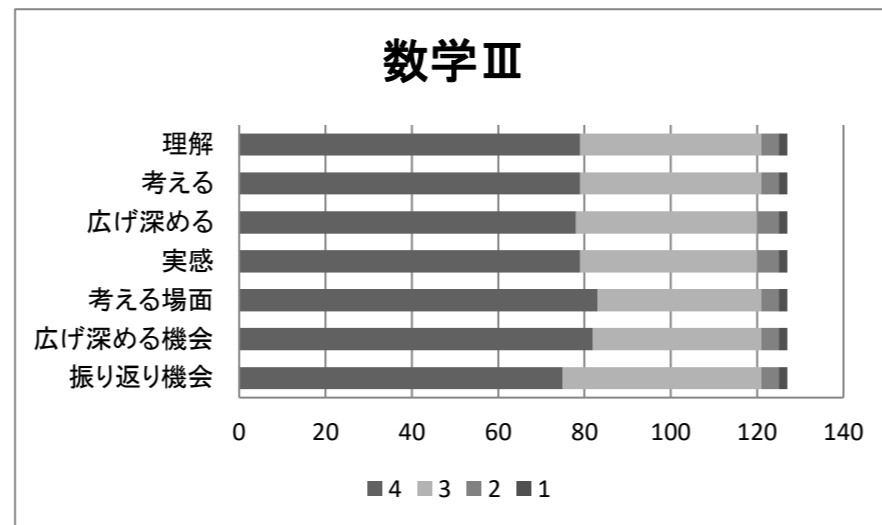
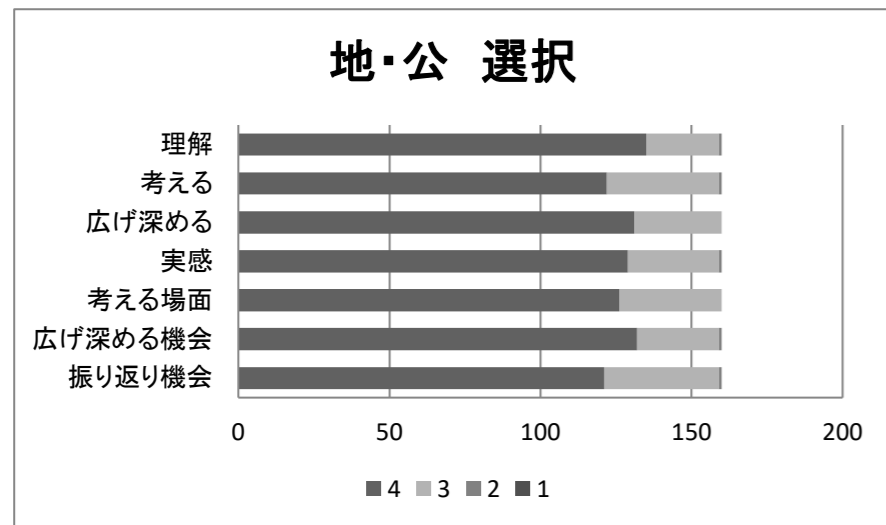
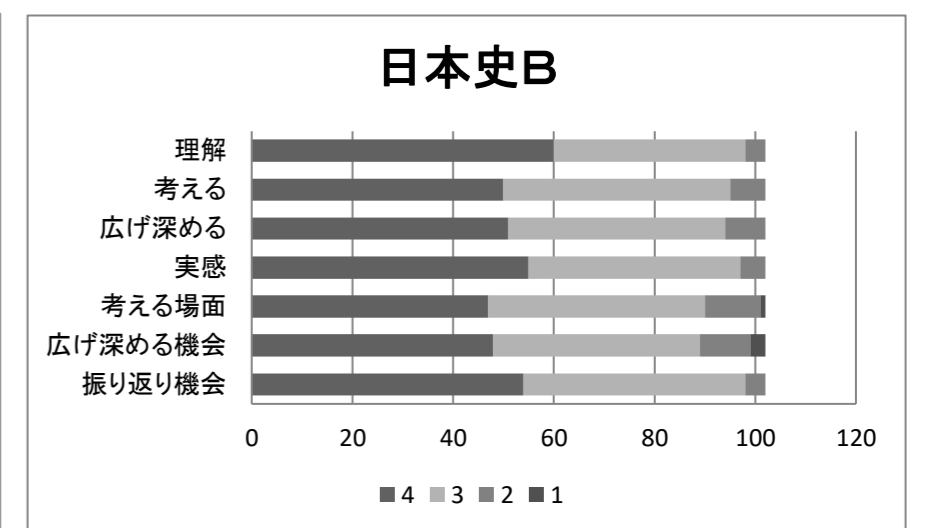
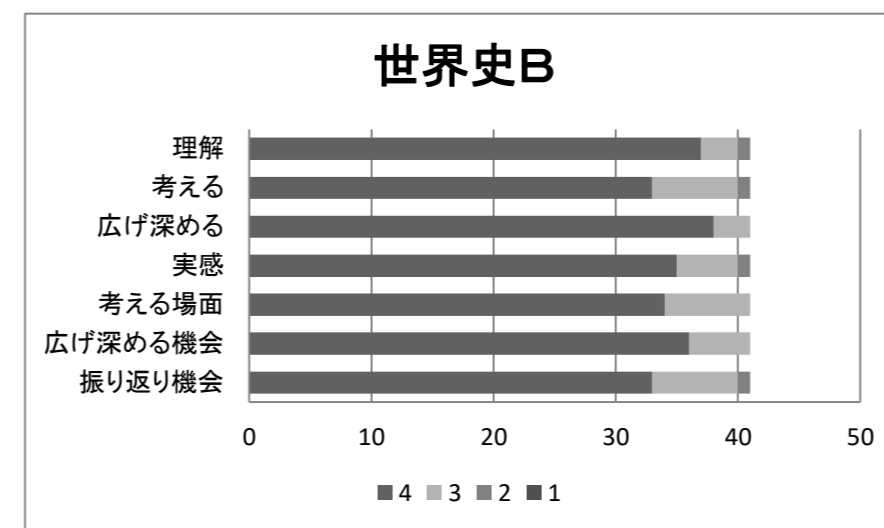
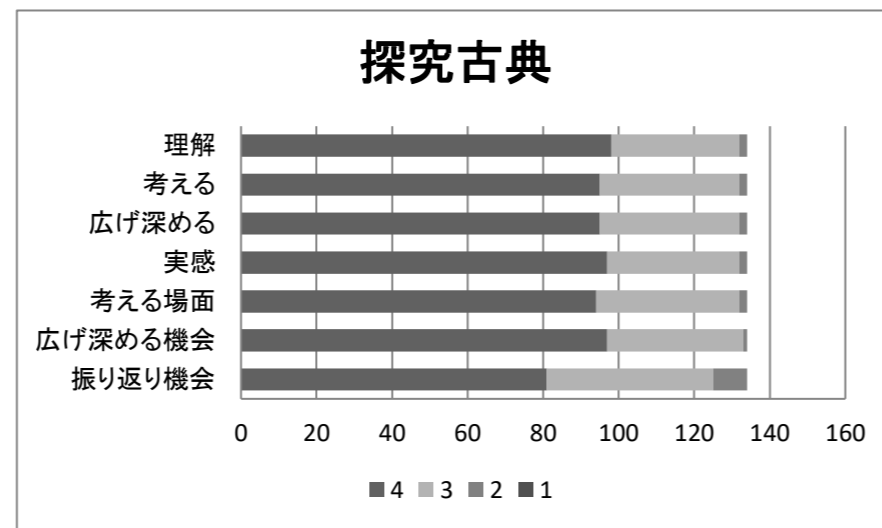
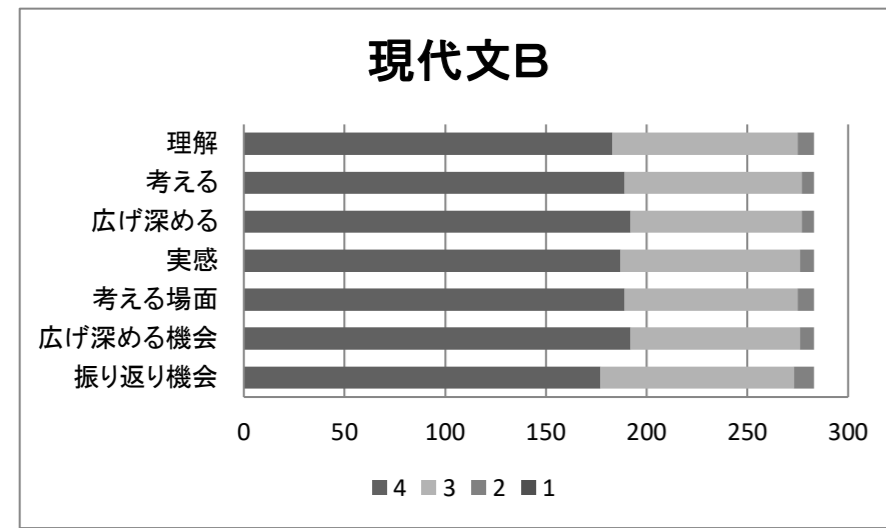
【数学】生徒の考えが広がるような発問や教材の工夫をすることで、受験を見据えた指導を行う。また、演習の時間を確保し、記述での解答の方法や、注意点などをおさえた指導を行う。

【理科】引き続き、板書、説明の工夫を行い基礎学力の定着を図る。特に知識を定着させるため、復習の重要性を生徒に働きかける。また、各分野において有効な実験や問題演習が授業に取り入れられるかを検討していく。

【外国語】教員からのレクチャーだけでなく、生徒同士で考えさせたり説明させたりする活動を積極的に取り入れた。授業形態や取り扱う題材を精選する等の工夫を行い、振り返りや定着のための活動を取り入れながら4技能のバランスの良い育成をねらった。

【総合的な探究の時間】昨年度に引き続き、年間を通じて探究学習の意味と意義を丁寧に伝え、目的意識を持って学習に取り組めるようにした。個人学習だけでなくグループ学習を取り入れながら、高校卒業後の進路について考えを深める時間を多く組み込んだ。

令和5年度 後期 生徒による授業評価(第3学年)



4:かなり当てはまる 3:ほぼ当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:ほとんど当てはまらない